

本大学は、浄土宗祖法然上人の仏教精神を建学の精神とし、「法然上人の立教開宗の精神に基づき、生命の尊さを深く理解し、素直に感謝のできる社会人を育成すること」を教育方針としています。

また、学訓を「和顔愛語」(和やかで穏やかな顔立ち、態度、そして、思いやりのある優しい言葉、行動)と定めております。すなわち、「私たち人間が現代社会を正しく生きていくためには、個人個人が常に和やかな心を持って、思いやりのある態度で他人と接していくのが大切である」ことを日々実践していくことを心がけ、共生の社会を目指すとともに、「女性を生きる人を育てる」のスローガンのもと、「自尊・他愛・共生」の精神を育むことを人材育成の目標としております。

そして、本大学の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)は、前記の建学の精神、教育方針及び学訓を深く理解することを基本として、学部の学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に従い、さらに高度な専門領域の修得に主体的・自立的な態度で臨むことができる人間であり、かつ、短期大学において学習・研究及び学生生活に対する基本的な素養を身につけている者を受入れることとしています。

【現代家政学部 食物栄養学科 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)】

【現代家政学部】

現代家政学部は、学位授与の方針に定める人材を養成するため、高等学校等における学習や経験を通じて、次のような基礎的な知識、思考・判断力、表現力等により主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を身に付け、自ら課題を発見し、探究しようとする意欲ある者を受入れるものとし、多様な選抜方法を各学科において適切に実施する。

(1) 知識・理解

高等学校等の教育課程を幅広く修得し、各学科の専門分野の修学に必要な基礎的知識を理解している。

(2) 思考・判断

生活の上での問題について、身に付けた知識・技能を基に、論理的に考え、他者へ客観的に説明しよとすることができる。

(3) 関心・意欲・態度

課題等について、関心と意欲を持ち、課題解決に向けて主体的に探究し、最後まで取り組むことができる態度を有している。

(4) 技能・表現

他者と積極的に関わることができ、他者に対して自分の考えを口頭・文書等によって表現することができる。

【食物栄養学科】

(1) 知識・理解

- ・高等学校等で履修した教科(国語、外国語、化学、生物等)の学習内容を理解している。
- ・栄養士・管理栄養士、栄養教諭、また、食に関係する企画・開発などの専門家を目指している。

(2) 思考・判断

- ・食と栄養の重要性を理解し、客観的に合理的な考え方と判断力を身に付けている。

(3) 関心・意欲・態度

- ・食と健康に関心を持ち、人々の健康の維持増進を食生活からアプローチしたいという意欲と情熱を持っている。
- ・食の安全・衛生や食ビジネスの分野において、企画・立案、及び課題解決を行うことに関心・意欲がある。

(4) 技能・表現

- ・多様な人々の状況に対し、食品、栄養、調理・加工、食育などの専門性をもって柔軟な対応ができる技能と表現力を身に付けたいと考えている。